

# アメリカ研修通信 第5号

平成 26 年 11 月 14 日

本日も 1 人も欠席することなくプログラムをスタートすることができました。

休憩時間を利用してロサンゼルスで活躍する日本人を代表して倉橋さんを招き講演していただきました。倉橋さんはアメリカで大学を卒業後、レコード会社を設立、その後日本からの学生を受け入れる教育の場で活躍しています。これまでの経験などを交えながら「好きなことを突き詰めること」や「失敗することの重要性」など生徒たちへ熱いメッセージを送っていただきました。

午後、3組は日系企業のBridge USAへ見学に出かけました。1組と2組はキャンパスにてアクティビティを行いました。キャンパスでテニスやゴルフをするグループ、近くの公園へ出かけバスケットやサッカーをするグループ、近くのショッピングエリアへ出かけるグループの3グループに分かれました。思い切り体を動かしてリフレッシュする生徒や、日本の家族や友達へのお土産探しをする生徒などそれぞれ楽しみました。

夕方に1組・2組の生徒を対象にミーティングを実施しました。こちらの生活に慣れ始めて気が緩んでしまい病気、けが、落とし物などしないよう注意を促すとともに、研修も折り返し地点を迎え今後は時が加速すること、本気でチャレンジするためにどうすればよいかなどを話し合いました。藤本先生からも言葉をかけていただき、最後には数人の生徒が決意を発表してくれました。

プログラム後には、剣道部の生徒が剣道の練習に参加しました。現地の代表の方からも今年もとてもいい生徒さんが来てくれ、とても刺激になった、今回からすべての道具を持ってきてもらったことで、今後もこの交流を続けて行くことができると思うと喜んでいただけました。参加した生徒達も、とてもいい汗をかき、本当に重たい思いはしたが、一緒に稽古ができて良かった、一生忘れないといっていました。











